*　　*　　*　　*

本研究では *Aeschynomene aspera*, *A. indica* および *A. sensitiva* の種子を研究した。その発生については *A. aspera* を用いた。これらのクサネム属植物では種皮は外珠皮から作られており，Kapuskar (1964) が *A. aspera* で記録したような珠心または内珠皮の残存は観察されなかった。

□Centro de Pesquisas de Historia Natural (ed.): **Conheça o Verde** (サンパウロ博物研究会(編)：緑を知ろう) 291 pp., 41 figs. 1988. Prefeitura Municipal de San Paulo, Brazil. 表記研究会の会長 Y. Chida (千田良広) 氏の総括の下に，橋本梧郎氏を主とし，多くの日系ブラジル人，その他の人々の協力のもとにこの書は出版された。サンパウロ市には現在15の広大な公園があり，同市公園課との合意で，1985年に第1冊 Parque de Aclimação (気候馴化公園) が完成し，今年をもって第15冊までの出版が完了した。これらをまとめて合本としたのが本書である。各公園には自然林をふくむ地域が主体で，植栽の植物も多く，本書では木本植物をとり上げ，ときに重要と思われる多年生草本を収録した。各の分冊の表裏のカバーには 2～4 pp. の景観写真と植生の組合せ写真がカラーで印刷されている。各公園には公園の植生地区別をふくむ地図があり，これらにある樹木の学名，ブラジル名が科名の ABC 順に配列してある。このほかに Goro Hashimoto 氏の Introdução (サンパウロ市公園の植物) には全体の計画，1919年以来の研究略史がブラジル語と日本語で書かれている。また全巻の末尾には Listagem ge Ral das Plantas dos Parques が 22 pp. にわたって科名の ABC 順に種名その原典，異名，ブラジル名，原産地，関係する公園名の略称が配列してある。文献欄には Martius: Flora brasiliensis (Bailey, L. H. 版) (1947-76), Corner, E. J. H. et K. Watanabe (1969), Yuasa, H. et F. Maekawa (1987) のほかに橋本氏の著(1951, 1946) など内外多数の著作の表がある。綴こみの正誤表のほかに挿入の正誤表が 2 葉もあり，良心的に編集された様子がうかがえる。このような形の出版は世界でも例のないことではないか。市民に開かれた公園を目指す意図が全篇からにじみ出ている。本書が評者の目に特異なのは，ほとんど各頁の最下部 1/6 くらいの所が商業広告によって占められていることである。なお本書は日系人の同国への移住80周年祭記念を意識したものであり，同国でも自然環境破壊が問題意識としてとらえられていることが千田良広氏の文でわかる。日本文は 2 pp. 分しかない。これは日系の人々をふくむブラジル人のための書であるから当然である。なお橋本氏には先年出版されたブラジル植物記，および日本の青少年むけの氏の伝記が昨年出版されている。　　(津山　尚)